

## 「環境ステージ」講演・セミナーに関するご案内（上）

419社の“包む”にまつわる最新鋭の機器・技術・サービスが集結する総合展示会



**JAPAN PACK**<sup>2023</sup>

[日本包装産業展]

10月3日(火)～6日(金) 10:00-17:00

東京ビッグサイト 東展示棟（2～6ホール）

一般社団法人日本包装機械工業会（東京都中央区／会長：大森 利夫）は、2023年10月3日(火)から10月6日(金)の4日間にわたり、東京ビッグサイト（東京都江東区）にて「JAPAN PACK 2023 [日本包装産業展]」を開催します。

34回目を迎える今回展の特徴の1つとして、新設の「環境ステージ」と「自動化ステージ」がございます。各ステージでは、業界を代表する著名な方々を講師に招聘し、包装にまつわる製造現場の自動化・効率化、持続可能な社会の実現に向けて、多種多様なソリューションを発信する講演会・セミナーを50本以上実施します。

今回のご案内では、東展示棟3ホール「環境ステージ」で実施される《環境》に関する講演・セミナーを、「官公庁・団体」、「食品・飲料」、「医薬・化粧品・日用品」と、業界別にご紹介いたします。

※ 「流通・小売」、「包装機械・材料・関連機資材」、「産学・海外」の講演・セミナーは、「環境ステージ」講演・セミナーに関するご案内（下）をご確認ください

各種講演・セミナーのご聴講には、事前登録が必要となります。下記公式ウェブサイトにて詳細をご確認いただき、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

<https://www.japanpack.jp/seminar/seminar.html>

なお、報道機関の皆様のご取材の申し込みにつきましては、JAPAN PACK2023 広報事務局宛にお申込みいただきますようお願い申し上げます。（お申込みは[こちら](#)から）

〈報道関係者向け お問い合わせ先〉  
JAPAN PACK 2023 広報事務局  
株式会社エイレックス

TEL：03-3505-3513

FAX：03-3560-1290

MAIL：[japanpack@arex-corp.com](mailto:japanpack@arex-corp.com)

## 《環境》に関する業界別スケジュール

### 官公庁・団体

10月3日（火）

時間	項目
11:00-12:00	<p>【基調講演】 「資源循環経済政策について」 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課長 田中 将吾 氏</p> <p>経済産業省は、2023年3月31日に、「成長志向型の資源自律経済戦略」を策定しました。本戦略の実現に向け、産官学 CE パートナーシップの立ち上げや動静脈連携の加速に向けた制度整備の状況をお話します。</p>
14:30-16:30	<p>特別企画【CLOMA パネルディスカッション】 「日本のサーキュラーエコノミーを牽引する～CLOMA メンバーの取り組み～」 〈コーディネーター〉 CLOMA 事務局 技術統括 柳田 康一 氏</p> <p>海洋プラスチックごみは、地球で暮らす全ての人々が考えなければならない複雑な問題です。CLOMA は、様々な業界のサプライチェーンを担う企業を中心となり、2019年に設立された団体です。日本企業がこれまで培ってきたプラスチックに関わる技術や知見を持ち寄り、企業のあるいは官民連携でその対策に挑戦しています。パネルディスカッションでは、CLOMA メンバーから様々な活動状況を紹介してもらい連携のポイントなどを議論します。</p> <p>〈パネリスト〉 ・ネスレ日本(株)、花王(株)、イオン(株)、アマタ(株) ※ パネリストのプレゼンテーション内容については各業界のスケジュールに記載しております</p>

10月4日（水）

13:10-14:10	<p>【特別講演】 「食品・容器包装業界における持続可能な社会のための取組」 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室 課長補佐 川端 匡 氏</p> <p>食品業界や容器包装業界は、製品のライフサイクル全体にわたって環境への負荷の低減を図っていく等により、持続可能な社会の実現に向けた重要な役割を果たしています。農林水産省等の施策の動向や取り組んでいる企業等の事例をご紹介します。</p>
-------------	---

## 食品・飲料業界

10月3日(火)

時間	項目
13:00~14:00	<p>【特別講演】 「味の素グループのサステナビリティ戦略」 味の素(株) 執行役常務 森島 千佳 氏</p> <p>味の素グループは、「アミノサイエンス®で人・社会・地球の Well-being に貢献する」というパーパスを掲げ、環境面では、「環境負荷 50%削減」の 2030 年アウトカム目標達成に向け、プラスチック廃棄物の削減、温室効果ガスの削減などの課題に取り組んでいます。環境課題への取組みを Holistic にご紹介します。</p>
14:30-16:30	<p>特別企画【CLOMA パネルディスカッション】 「日本のサーキュラーエコノミーを牽引する～CLOMA メンバーの取組み～」 「ネスレのサステナブルパッケージの取組み」 〈コーディネーター〉 CLOMA 事務局 技術統括 柳田 康一 氏</p> <p>〈パネリスト〉 ・ネスレ日本(株) 執行役員 コーポレートアフェアーズ統括部 嘉納 未来 氏</p> <p>ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」の存在意義を掲げ、事業を通じて社会課題を解決する共通価値の創造 (CSV) のアプローチを実践しています。取組みの一つとしてプラスチックごみ問題への取組みをお話しします。</p> <p>・花王(株)、イオン(株)、アマタ(株)</p> <p>※ その他のパネリストのプレゼンテーション内容については各業界のスケジュールに記載しております</p>

10月4日(水)

11:50~12:40	<p>【JAPAN PACK セミナー】 「持続可能な未来のための食品システムの変革」 日本テトラパック(株) マーケティングディレクター 鍛冶 葉子 氏</p> <p>テトラパックは、食品加工処理や紙容器充填包装、サービスソリューションの開発に取り組んでいます。当講演においては、消費者の環境意識の高まりや市場のトレンドを踏まえ、持続可能な食品の未来に向けたテトラパックの取組みについてご紹介します。</p>
-------------	---

10月5日(木)

11:50~12:40	<p>【JAPAN PACK セミナー】 「包装なしでは語れない冷凍食品」 (一社)日本冷凍食品協会 広報部長 三浦 佳子 氏</p> <p>凍っていれば冷凍食品と呼べるわけではありません。そもそも冷凍食品とは何か、冷凍食品の基礎知識とトレンド、環境配慮型パッケージについてもお話しします。</p>
-------------	---

## 医薬・化粧品・日用品業界

10月3日（火）

時間	項目
14:30-16:30	<p>特別企画【CLOMA パネルディスカッション】</p> <p>「日本のサーキュラーエコノミーを牽引する～CLOMA メンバーの取り組み～」</p> <p>「プラスチック資源循環に向けた日用品業界の取り組み紹介」</p> <p>〈コーディネーター〉</p> <p>CLOMA 事務局 技術統括 柳田 康一 氏</p> <p>〈パネリスト〉</p> <p>・花王(株) 包装技術研究所 上席主任研究員 田村 英子 氏</p> <p>軽量で耐久性があるプラスチックは我々の生活に欠かせないものとなっているが、地球規模の課題となっています。日本において、フィルムと容器類で生産量の約5割を占めるが、燃やさないリサイクルは4分の1程度に過ぎず、日用品業界においても水平リサイクルは重要です。今回プラスチック削減のための花王の取り組みや、業界で取り組んでいるプロジェクトについて紹介します。</p> <p>・ネスレ日本(株)、イオン(株)、アマタ(株)</p> <p>※ その他のパネリストのプレゼンテーション内容については各業界のスケジュールに記載しております</p>

10月4日（水）

10:30-11:20	<p>【JAPAN PACK セミナー】</p> <p>「化粧品業界における容器包装の環境配慮について」</p> <p>日本化粧品工業会 / 花王(株) サステナビリティ推進委員会 容器包装部会長 / 包装技術研究所 室長 松本 州平 氏</p> <p>2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を受けて化粧品工業会が2022年6月に策定した「化粧品の容器包装に関する環境配慮設計指針」をはじめとして、化粧品工業会会員企業様の取り組み事例などを交えながら、化粧品業界における容器包装の環境配慮についてご説明します。</p> <p>「KOSE が取り組んだ環境配慮設計事例の紹介」</p> <p>日本化粧品工業会 / (株)コーセー サステナビリティ推進委員会 容器包装部会 / 商品デザイン部設計開発室 室長 加川 泰央 氏</p> <p>化粧品業界が取り組む環境配慮設計の代表的な事例として、KOSEの主力ブランドである「雪肌精」から新シリーズとしてリリースされた「雪肌精クリアウェルネス」のブランドコンセプトや新規素材の採用に至るまでの経緯を説明します。2020年9月発売時の商品群だけでなく、現在までに追加された商品も含めた容器設計や包装材の選定事例もご紹介します。</p>
-------------	---

【日本包装機械工業会セミナー】

「環境にやさしいバイオマスプラスチックの医薬品用 PTP 包装への適用拡大に向けて」  
アステラス製薬(株) CMC デベロップメント 製剤研究所 包装・デバイス研究室 細越 淳来 氏

14:40-15:30

当社は 2021 年にサステナビリティ向上に向けた取り組みとして、バイオマスプラスチックを使用したフィルム（バイオマスフィルム）を世界で初めて医薬品用の PTP シートに採用しました。本発表では、環境負荷低減に取り組む企業間連携に触れながら、バイオマスフィルムの製品適用拡大に向けた直近の検討について紹介します。

10月5日（木）

【JAPAN PACK セミナー】

「ライオンのプラスチック資源循環への取り組み」  
ライオン(株) サステナビリティ推進部 中川 敦仁 氏

16:10-17:00

プラスチックを使用した製品を展開する事業者にとって、資源循環社会への挑戦は、将来の事業を大きく変える可能性があります。本講演では、製品開発の中での 3R+リニューアブルの実践事例、様々なステークホルダと取り組む使用済み製品・容器の回収について紹介します。



## 開催概要

- 名 称 JAPAN PACK 2023 [日本包装産業展]  
Japan Packaging & Manufacturing Technology Show 2023
- テーマ 未来への包程式 - 当たり前その先へ -
- 会 期 2023年10月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00
- 会 場 東京ビッグサイト 東展示棟2～6ホール  
所在地：東京都江東区有明3-10-1 (〒135-0063)
- 開催目的 国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬品・化粧品・日用品製造機器、物流機器、およびそれらに関連する技術・サービスを展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、包装関連業界ならびに需要業界の発展を通じて、より良い社会の実現に資することを目的とする。
- 主 催 一般社団法人日本包装機械工業会
- 展示分類 第1類：包装機械／荷造機械  
第2類：包装資材・容器  
第3類：印刷機械・関連機器／包材加工機械  
第4類：ロボット／機械部品・要素技術／包装関連機械／検査機・検出器  
第5類：食品加工機械・関連機器  
第6類：医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器  
第7類：環境対策機械・関連機器  
第8類：衛生管理機器・資材  
第9類：物流機械・関連機器／店舗設備機械  
第10類：デジタル技術／ソフトウェア  
第11類：エンジニアリング・システム  
第12類：団体／プレス／研究・教育機関／人材サポート／その他
- 展示規模 出展者数：419社・団体 総小間数：1,873小間（2023年9月1日現在）
- 来場者層 食品・飲料関係／医薬・化粧品・日用品・化学品関係／繊維・雑貨・文具関係／鉄鋼・輸送機器・電気関係／小売・流通・サービス関係／機械・機械部品・ロボット関係／包装材料・容器・印刷関係／情報機器・ソフトウェア関係／プラントエンジニアリング関係／官公庁・団体・関連機関／一般・個人／学生／報道関係／その他
- 入 場 完全事前登録制（無料）  
<https://www.japanpack.jp/seminar/seminar.html>